NDYS in Action, Newsletter

Natural Disaster Youth Summit Monthly News

Vol#5
March 25, 2008

世界中のアイデアを集めよう！

編集（P1）、翻訳
加藤　言人，神戸

トピック
生徒達の知識を世界中から集めよう！
NDYS フォーラム 2008/ 神戸

NDYS Youth Editors

NDYSフォーラム ー地球温暖化と防災

３月23日、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター（神戸）で、フォーラムを開催しました。各学校がNDYS２００８のテーマ『地球温暖化と防災』に関するそれぞれの活動を、インターネットテレビ会議を通して発表することが出来ました。日本からは、名古屋市立柳小学校、三木市立自由が丘中学校、兵庫県立川西高校宝塚良元校、神戸市立葺合高校が参加しました。

海外からは、台湾、イラン、トルコ、トリニダード・トバゴ他の生徒達からも防災活動についての発表がありました。「安全マップ、安全バッグづくり」などについての活動について知ることが出来ました。

生徒達の発表の後、“災害時の海上支援”に関する特別発表がありました。神戸大学の学生が、海上支援の現状と重要性について発表をしてくれました。

NDYS フォーラム 2008　参加者の記念写真

第二部では、パネルディスカッションを開催しました。第一部で発表をした各生徒がパネリストとなり、地球温暖化と防災について意見を交わすことができました。

参加者全員にとって、とても有意義な一日となったことでしょう。そして、私達全員は新しい知識を蓄えることが出来ました。

NDYS 展 2008　安全マップ＆安全バッグ

私は、今年もフォーラムに参加しました。今回は、パネルディスカッションの司会としての参加です。とても難しい役割で、役目をうまく果たせたとは思いませんが、他の人の意見を聞く事ができたのはとても貴重な経験となりました。

また、最初の発表では、トルコの発表が私の心にとても残りました。旱魃についての発表でしたが、今実際に彼らはその被害に直面しています。私は、とてもその問題を身近に感じました。私は何かが、直ちに成されるべきだと思っています。もちろん、状況がすぐに改善されるわけではありませんが、何もしなければ、何も変わらないのです。　（加藤言人）

編集（P 2-4）
Sergio Daniel Paz;
Salta-Argentina.

トピック

自然災害と防災

アルゼンチン北部で再び洪水(P2)
アルゼンチン北部（Salta and Jujuy）での地震(P2-3)
インドネシアでの洪水(page 3)

洪水ーアルゼンチン北部

The North of Argentina against the floods again

Salta 市北部では、Pilcomayo 川が再度洪水を引き起こしました。被災地域は Santa Victoria と Santa Maria です。被災地には 1800 キログラムのドライフードと毛布、そして衣服が送られました。ヘリコプターが、住民を支援しています。

最低でも、250 の家族が孤立しています。さらに多くの物資が彼らに送られようとしています。水が住宅まで達しなかったのは奇跡でした。

北部地域は再び洪水に侵されました。

地震ーアルゼンチン北部

Earthquake in Salta and Jujuy-Northern Argentina

誰もが、10 時 19 分に発生した、短い地震を予想することは出来なかったでしょう。10 秒間、マグニチュード 5.3（メルカリ震度で 4）の揺れが続きました。

人々は衝撃を受け、何をすればよいか分かりませんでした。とくに高齢者は、おおきな恐怖を感じ、無力でした。

公的な建物や、安全な場所にいた職員達は、地震は強力で突然で、動くことも出来ず、ただ両手で頭をまもってしゃがむことしかできなかったが、短い時間だったので幸運だった、と語りました。

幸運なことにこの地震では、死者や損壊した建物はありませんでした。

今回の地震の震央は、San Salvador de Jujuy 市の東５０ｋｍに位置しています。図書館、“Jose Hernandez”博物館、学校、そして他の建物にいた人々は、自主避難を開始しました。これは、衛生と安全の専門家によって指導され、実行されるプログラムです。全ての建物が、プログラムに含まれています。

幸運なことに、市民防衛センター(Center for the protection of the Citizen)は、2006 年から「地震と学校」と呼ばれる、子どもにこのような災害への対処方法を教えるプロジェクト を開始していました。

洪水―インドネシア
Flood in Indonesia

わずかーヶ月の間に、5 回もの避難を繰り返したと知ったとき、ジャカルタの人々は感心しました。豪雨は通常ーヶ月にー回は観測されますが、今回は状況が違いました。

人々にとって、下痢も深刻な問題ですが、経済的損失や予測収入の減少も大きな心配事となっています。大多数の人々が、清掃人や建築作業員、商人として働いているため、今回の災害で大きな不安を抱えています。

政府によると、洪水は、普通ではない多さの降水量、加速する都市化による水を吸収する緑地の劇的な減少、津波や不十分な排水設備などの、いくつかの要因によって引き起こされました。

「2 月上旬にとても激しい雨が降りました―通常このような雨量はーヶ月かけて観測されますが、今回はー日で観測されたのです。」と Andes Sudarhono さん（Meteorology Agency's natural disaster unit for West Java and Sumatra province 長）は語りました。

「このような異常に激しい降雨の原因は“気候変動”です―私たちの多くの研究がそれを指し示しています。」と Andes は言います。

貧困地域で、主婦が家の一階まで浸水したことを指し示しています。

"Communication saves lives!"

洪水―モザンビーク
Mozambique and the floods

10 万人を超える人々が、Zambezi River Valley での洪水によって退去を迫られ、未だモザンビークの中央部に位置する Tete, Sofala, そして Zambezia の再居住センターから出ることできないでいます。

彼らはそこで新生活を作り直さなければなりません。1 月上旬から川の水位が上がり始め、政府や支援組織が直面した最大の挑戦は、肥沃な土地に住んでいる地域住民への退去の説得と高台への定住でした。

水位は、警告水位を下回りましたが、住民はまだ避難所にいます。

アフリカ第 4 位の大河である Zambezi 川はナミビア、ボツワナ、ジンバブエとの国境線に沿って流れ、インド洋に流れ出る前にモザンビークを横切ります。Source: www.irinnews.com

住民はまだ退去をせまられています。

編集後記: 今回は、人々が教えられていれば、それは他の人々にとって便利であることを学びました。私達は学び、そして教えることができます。お互いに生き抜くために最善をつくすことができるのです。また、気候変動がたくさんの地域、大陸で問題を引き起こしていることが分かります―このようなことは何かに起因しているのでしょうか？そうです。それは私達に起因しているのです、私達がその全てを引き起こしているのです。確かにトピックのなかでは人々が努力をしています。しかしこれは私たちがもし関心を持たなければ、そして私達が、自分達が発展させてきたものに責任をもたなければ、近い将来なにが起こるかを示す簡潔な例なのです。

Sergio Daniel Paz
alta-Argentina

■ 詳しい情報については下記までご連絡ください ■
ndys@jearn.jp http://ndys.jearn.jp
NDYS 事務局:〒651－0073 神戸市中央区脇浜海岸通1－5－1 ひょうご国際プラザ活動支援室気付
NPO 法人 グローバルプロジェクト推進機構 JEARN 事務所内